



心血管系の組織発生と標本の作製法

健康開発学科 検査技術科学専攻

安藤 克己 准教授

【研究分野】 組織学、発生学、病理学、病理検査学

【キーワード】 心臓、血管、組織発生

【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=229an>



研究概要

・心冠状動脈の発生をきっかけに、発生期の心内膜組織や血管組織の染色性、血管組織マーカーの発現から、冠状動脈と大動脈の形成過程での関わりについて調べています。最近では、病理検査で使われている弾性線維染色の染色能力について、形態形成途上の組織の面から比較検討しています。

講座テーマ紹介

生物組織標本の作製と観察

(一般講座)

- ・「魚の顕微鏡標本を作ろう」

「ごはんの友シラスを極める！」など小学生向けの「生命科学体験教室」として開講。食材としてなじみの深い魚を材料に、それらの組織標本や骨格標本を作り、顕微鏡観察を通じて、魚類から人類に到る進化の中で引き継がれる体のしくみについて解説。

- ・「食肉組織を見てみよう」

オープンキャンパスでの模擬講座として開講。精肉のみならず加工肉製品について組織標本を作製し、肉製品の製造過程で添加される炭水化物や脂質の分布について観察。

病理学・病理検査学

(教育機関向け)

- ・「病理学・病理検査学」

高校生向け開放授業「臨床検査概論」の中の病理検査の回を担当。また以前、県立高校の専攻科にて「病理学」の授業も担当。

アピールポイントなど

当時、北浦和の地にあった前身の学校に勤めてから、動物組織を生かした教育や研究にずっと取り組んできました。昨今の騒動が始まる以前は、スーパーの店頭にも並んでいるような食材を使っただけの公開講座で、毎年、小学生の皆さんにもお目にかかっていました。

生物組織標本を作製するためには、ミクロトームなどの特殊装置がいくつか必要ですが、本学には教育上の使命からそれらの装置が十分な数、設置されています。教育研究での希望があればご相談ください。